

addS_ACECONV [円・円弧・楕円をポリラインに変換]

選択した円・円弧・楕円をポリラインに変換します。

アクセス方法

ボタン:



リボン: [adds]→[作図]パネル→[ポリライン]ドロップダウン

[線・円]→[ポリライン]パネル→[ポリライン編集]ドロップダウン

解説:

選択した円、円弧または楕円をに変換します。

「分割数」オプションで分割数を変更できます。

「分解」オプションで 変換後のポリラインを分解するかを指定できます。

「削除」オプションで 選択した円または円弧、楕円を削除するかを指定できます。

コマンド入力: ADDS_ACECONV

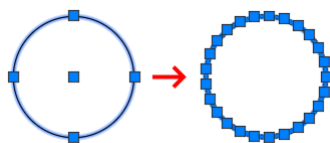
現在の設定: 分割数 = 100、分解 = しない、削除 = しない

円または円弧、楕円を選択 [分割数(N)/分解(X)/削除(D)]:

選択した 円 を 100 で分割します

手順:

1. [円・円弧・楕円をポリラインに変換] ボタンをクリックします。
2. 必要に応じてオプションを変更します、ここでは「分割数」オプションを 25 に変更します。
3. 円または円弧、楕円を選択します。



addS_EXPORTATT [属性値 csv 書き出し]

ブロックの属性データとブロック名、挿入位置などの情報を csv ファイルに書き出します。

アクセス方法

ボタン:



リボン: [adds]→[ブロック・参照]パネル→[属性定義]ドロップダウン

[挿入]→[属性]パネル→[属性値 csv 書き出し]ドロップダウン

解説:

ブロックの属性データとブロック名、挿入点、ハンドル(図形を識別する番号)を csv ファイルに書き出します。

csv ファイルで修正した属性データは addS_ExportAtt [属性値 csv 書き出し]コマンドを使用して、元の図面に読み込むことができます。

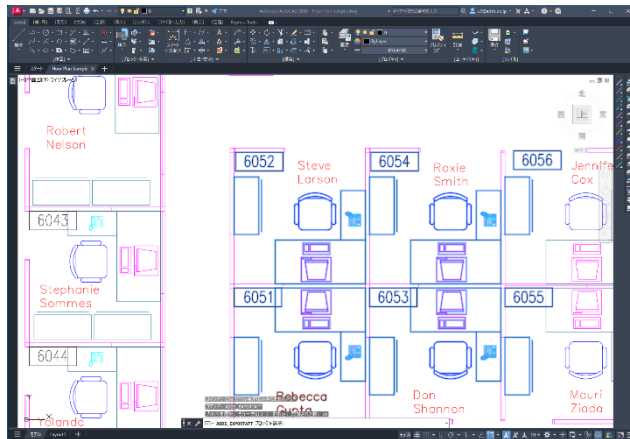
コマンド入力: ADDS_EXPORTATT

ブロックを選択: もう一方のコーナーを指定: 認識された数: 19

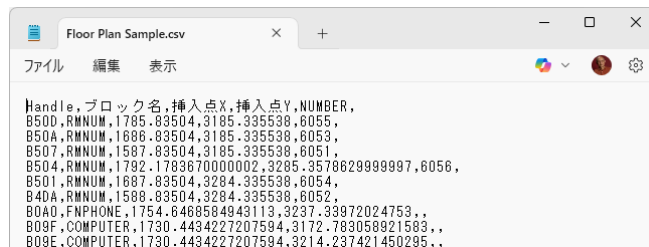
D:\テスト¥ Floor Plan Sample.csv を保存しました

手順:

1. [属性値 csv 書き出し] ボタンをクリックします。
2. ブロックを選択します。



3. csv ファイル名を指定して、属性データを書き出します。



addS_IMPORTATT [属性値 csv 読み込み]

addS_ExportAtt [属性値 csv 書き出し]コマンドで書き出し、編集した csv ファイルを読み込み、ブロックの属性データを更新します。

アクセス方法



ボタン:

リボン: [adds]→[ブロック・参照]パネル→[属性定義]ドロップダウン

[挿入]→[属性]パネル→[属性値 csv 読み込み]ドロップダウン

解説:

csv ファイルを書き出した dwg ファイルを開き、編集した csv ファイルで属性データを更新します。

※ 読み込み専用または OneDrive などクラウド上にある dwg ファイルは更新されません。

dwg ファイル、csv ファイルの保存先を PC 内に変更してお試しください。

※ csv ファイルでブロック名、挿入点、ハンドル(図形を識別する番号)を変更するとブロックが識別できず属性データの更新ができません。

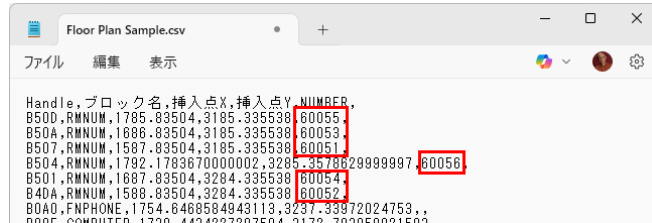
コマンド入力: ADDS_IMPORTATT

RMNUM ブロックの値を更新しました...

RMNUM ブロックの値を更新しました...

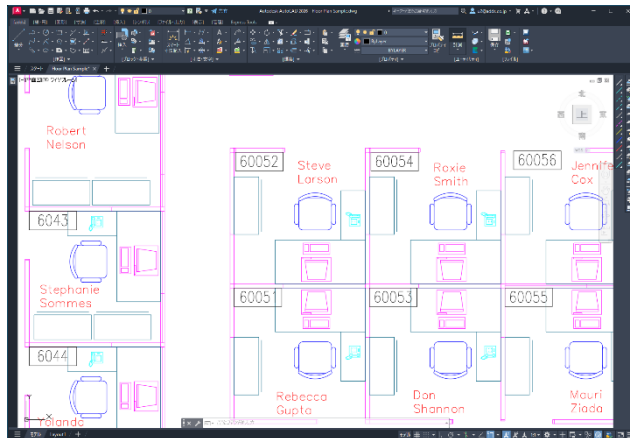
手順:

1. [属性値 csv 書き出し] コマンドで作成した csv ファイルを変更します。



2. [属性値 csv 読み込み] ボタンをクリックします。

3. 読み込む csv ファイルを指定します。



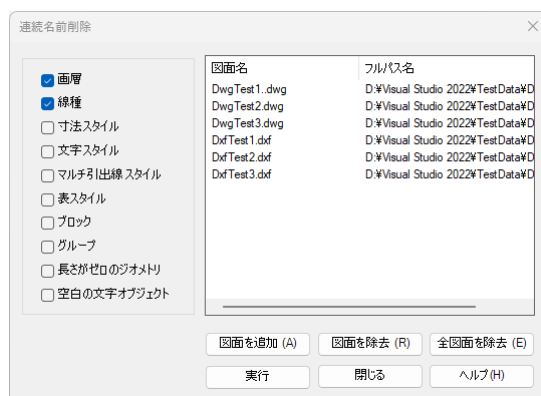
addS_TXTENCLOSE[文字を枠で囲む]

枠のタイプに「ひし形」を追加しました。



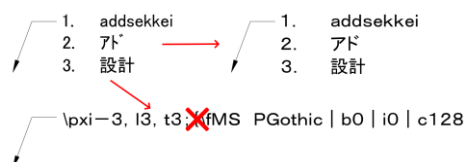
addS_ADDTOOLP[連続名前削除]

DXF ファイルも連続名前削除できるようになりました。



addS_HANKAKU2ZENKAKU[全角に変換]

マルチテキスト・マルチ引出線の箇条書きやフォントなど文字列以外の情報が表示される問題と、属性を含まないブロックを選択するとエラーになる不具合を修正し、複数の属性に対応しました。



addS_ARRAYPATH[式でパス配列複写]

ポリラインの円弧セグメントで回転角度が正しく複写されない問題を改善しました。